

府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合ってたの楽しく生活していくことを願って、活動を続けています。

# くろすろ〜ど

2015/5月号

会報誌

## 〜サロン月間カレンダー〜5月〜

### ■サロンでお茶会(文化交流部会)

- 5月8日(金) 午前10時30分〜12時  
「絵手紙教室」(参加費100円〜200円)
- 5月15日(金) 午前10時30分〜12時  
「生け花教室」(花代500円) 要予約
- 5月22日(金) 午前10時30分〜12時  
「着付け教室」ゆかた
- 5月29日(金) 午前9時30分〜13時  
「料理教室」タイ料理 (400円)  
中央文化センター

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

### ■ボランティア研修会(旧勉強会)

- 5月20日(水) 午前10時〜12時  
場所: 3F会議室  
テーマ: I 「い形容詞」、「な形容詞」って何?  
II 例文の作り方

### ■企画部会イベント

- 5月23日(土) バス研修会「葛西水族園」

### ■井戸端会議(おしゃべり会)

- 5月28日(木) 午後2時〜4時

## イベント報告

### 「桜まつり」

#### リー・ドアン(ベトナム)

やがて私が「日の本」の国に住むのが一年間に達します。一年間は長い時間ではありませんが、日本の美しさについて様々な体験が出来ました。雨季と乾季しかない国に住んでいた人として、来日から日本の夏の花火、秋の紅葉、冬の雪に驚いた心をずっと持っています。最近春は入るころ、桜の楽しみに私の小さい心が非常にワクワクしていました。初めての花見で私の子供の頃の心がもう一度戻ってきました。マンガの世界の綺麗な桜の景色に迷っていた心です。

ちょうど私が住んでいる町で桜祭りが行われました。祭りで私がダンスクラブの皆と一緒に演奏しました。ダンスクラブと一緒に苦労して練習していたので、私たちは非常に楽しみにしていましたが、演奏日の前日の天気予報によると、雨がふるそうで、メンバーの皆は心配しました。皆のお祈りを聞き、神様が大雨ではなく、春の優しい雨を送ってくださいました。私たちの心は軽くなりました。演奏の時、私たちはベテランではありませんが、観客の皆は熱心に応援して下さいまして、感動されました。生き生きしたメロディーと合わせて、桜祭りで踊るのは

桜の花びらと一緒に春の風で踊っているようで、生涯の幸せでした！

ダンスの練習でクラブの皆と一緒に練習するだけではなく、休憩でケーキやお茶までも皆がシェアしたり、楽しいことを語ったり、寂しい人を慰めたりすることを通して、私として皆が家族みたいと思っています。ですから、日本に来てから私の一番幸せな事は何ですかを聞かれると、大好きなラーメンを食べるのではなく、初花見でもなく、私の家族、いわゆるダンスクラブメンバーと一緒にダンスすることです。初めての桜の季節の美しい思い出が私の心に永遠に残っていると思います。

桜が見事のみならず、桜が家族や友達の集まる機会も作ってくれます。桜は梅のよう濃厚の色をもっていませんが、故郷と離れている人の私の心を十分温めてくれました。桜を愛してしまいました。



## 世界の文化

### 「ベトナムの結婚式」

金曜夜ボランティア 中野寛子

金曜夜の日本語学習会で私が担当したフンさんと、榎本さんが担当されたチュンくんの結婚式に出席してきた。新郎側と新婦側との二度の宴が行われるという。3月7日、ホーチミンから南へタクシーで約2時間のジオンチョム省・ベンチャー県にあるフンさんの自宅で行われた新婦側の結婚式はカラオケの大音響と共に始まった。裏庭いっぱいに広げられた手作りの料理の数々、忙しく動き回る大勢

の御近所の人々、笑い声、片隅の大きな釜戸には大鍋がかけられ何やら煮たきをしている様子、そこには子供の頃に見た田舎の結婚式を思い出させるなつかしい光景が広がっていた。前庭にはテントが張られ、各々テーブルいっぱいの料理が並び、すでに大勢の来客が宴を広げていた。その間をぬうようにして新郎、新婦が回り、やがて午後を回った頃になって祭壇を背にして親族がテーブルに付き儀式が始まる。杯をかわし、贈り物を渡している様子、大勢の人が見守る中、式は十五分程で終わった。椰子の林と水路に囲まれた田園風景の中でひとときわ賑やかな宴は一晩中続いた。翌日、バスを貸し切ってホーチミン近郊のレストランに移動、再び新郎側の宴が催され、ようやく二日間に渡る式は感激の涙を伴って終わった。帰り道、タクシーの窓からあちこちに見られる建設ラッシュの街を通り過ぎてホーチミンに戻る。道路を埋め尽くすたくさんのオートバイに目をはかり、貨幣価値の違いに何度も戸惑い、これから急速に成長していくであろうこの国と若い二人に幸あれと祈りつつ、無事に終わった事への安堵感と共に、翌日、早朝の便で日本に戻った。



### 私のお国自慢 ～2～

### 「ナポリの味と母の味」

アントネッラ・セニセ (イタリア)

私のふるさとは、南イタリアのナポリです。私がナポリで一番好きな場所・食べ物・飲み物についてお話ししましょう。

# 投◇稿

## 「私の恋しい方」

かんこく キム ウンジョン  
韓国 金 殷正

ナポリの一番有名な散歩道は、ピア・カラチョロです。この長いプロムナードを歩いていくと、ベスビオ火山を見ながらカステル・デル・オボ城に着きます。1400年ごろに建てられた素敵なお城です。ここでは、毎年9月に大きなピZZA祭りが行われています。去年は9月2日から7日まで50店が参加して、ピZZA 10万個が作られ、大成功でした。

ナポリでは、毎日パスタを食べます。たとえば、スパゲッティ・アイ・フルッチ・ディ・マレはすごく美味しいです。あさりとエビとイカで作ります。もちろんイタリアの人はごはんも食べます。北イタリアでもお米が育ちます。リゾットは人気です。しかし、南イタリアの人はライスよりパスタがもっと好きです。

ナポリの伝統的なデザートは本当に美味しいです。私のデザートベスト3は「スフォリアテッラ」と「ババー」と「デリチア・アル・リモネ」です。

「スフォリアテッラ」は、リコッタチーズとオレンジの皮で作ります。「ババー」は、ラムの味のソフトなスイーツです。「デリチア・アル・リモネ」は、レモンクリームデザートで、ナポリの近くソレントのデザートです。

私が一番好きな飲み物は、エスプレッソコーヒーです。イタリアでは、各家庭にエスプレッソメーカーがあります。私はこのエスプレッソメーカーをイタリアから持ってきました。コーヒーの粉は、イタリアから母が送ってくれます。ナポリの味と母の味をいっしょに毎朝味わっています。エスプレッソコーヒーの入れ方については、いつかご紹介しますね。

皆さんもナポリに一度いらして、本場の味を味わってください。



私が戸田先生と初めて出会ったのは約8年前。日本に来て子供達が学校の体育祭で踊りに着る服を作るのに悩んでいたところ、サロンで私が日本語の勉強をさせていただいた三宮先生がご紹介してくださったのでした。私にいろいろ心を配ってくださったこの優しい先生との初対面の時はとても日当たりが良い日で、今でも鮮明に覚えています。

それから1週間に1回先生に洋裁を習うことになりましたが、先生とは特別な縁がありました。

先生はうちの母と同じ歳で、私は先生の一人娘さんと同じ歳で、私の子が先生のお孫ちゃんと同じ歳で、先生の娘さんの家族と私達はお互いに外国に住んでいました。

それでお互いに愛している会いたい人と出会ったような親密感を感じていました。

洋裁を習うだけではなく、楽しくて嬉しいことがあった時は一緒に喜んでくださり、悩んだり迷ったりする時は相談に乗ってくださったり、外国の生活でいろいろ不安で心細くなった時は私の方になってくださって本当に心から感謝しております。

先生が遠くに旅立ってもう1年になりますが、いつも私の心に生きている先生のためにも、これからも日本での生活を心配していただかなくてもいいように頑張ってお返しして生きていきたいと思えます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。先生を心から愛しています。

ぼうさい さくせい たずさ  
**「防災ノート作成に携わって」**

げつようごぜんぶかい くわじま わねとし  
 月曜午前部会 桑島 宗利

1. 「外国人向け防災ノート」は異なる仲間が話し合っ  
 て作り上げました。年齢も得意分野も全然違う人た  
 ちが目的は一緒とはいえず初めて出会って6か月で生  
 み出した成果です。予定をはるかに過ぎ学生の春休  
 み中にも共同作業が続きました。発災時の現場を担  
 う防災危機管理課や消防署の方々にも繰り返し  
 参加して頂きました。そして今やと緑色の小冊子  
 になって実りました。

時を同じくして(色も同じで)市の防災危機管理課  
 も新しい「府中市防災ハンドブック」を刊行しまし  
 ました。ぜひ両方を手にとってご覧ください。共同作業  
 (新しい造語では、協働?)を終えて学生たちは  
 就職活動(就活)や留学に飛び立っていきました。

2. 今回サロン側では外国人学習者自身が作業メン  
 バーに入って取り組むというところまではいけませ  
 んでした。そこでアンケートで自国の災害対策のこ  
 とを聞き出したり、日本での防災について聞き取り  
 調査活動も行ってみました。この聞き取り調査は別  
 な学生グループからも応援を得て、学習者とボラン  
 ティアと学生の三者で話し合いながら実施すること  
 が出来ました。原稿段階では日本語学習会の学習者  
 に目を通してもらいその意見も参考にしました。

一緒に取り組む中で、学生側には在住外国人という  
 人たちのことが具体的に目に見えて来た様に思います。  
 私たちも若い彼らと話し合う中で、阪神淡路大震災  
 のことや3.11発生時の体験から「外国人向け」に最低  
 必要な情報は何か絞り込むことが出来てきました。

3. 11発災時に福島にいた学生の提案でさらに必要な  
 情報も練り上げることが出来ました。異なる仲間が  
 悩みながら生み出したこの冊子をぜひ市内在住の  
 外国人や複数国籍家庭の方が手に取って活用できる  
 よう知恵をお貸しください。日本語学習にも役立て  
 てください。

3. 学習者からは自国語版を作りたいという声  
 もあります。さらに防災分野を生活日本語活動とし  
 て取り上げて行きたいものです。



外国人のための「やさしい  
 防災ノート」は、5月  
 1日(金)よりサロンは  
 じめ、市の各施設で無料  
 配布いたします。

**研修会報告** だい かい  
 第60回

○日時：4月15日(水) 10:00~12:00

○出席者：14名

○テーマ：学習者に合った教材選び

—こんな学習者にこんな教材—

けんしゅうぶかい かよう ゆみこ  
 研修部会 萱生由美子

今年度初めての研修会(旧勉強会)は、学習者  
 に合った教材の紹介とお勧めの一冊です。

<基本的な教科書> 初級

○長期滞在できちゃんと日本語を勉強したい人

漢字圏の人：「みんなの日本語 初級 I・II」

非漢字圏の人：「みんなの日本語 初級 I・II」

(英語版・中国語版・韓国語版・タイ語版等)

○長期滞在だが日常会話が話せる程度でいい人

漢字圏の人：「日本語初級大地 I・II」

「みんなの日本語」より語い・文型が少くない

「文化初級日本語 I・II」(改訂版)

カラフルで絵が多い。非漢字圏の入門レ

ベルの人にも使える

非漢字圏の人：「Japanese for busy people」

英語・ローマ字書きによる説明

○短期滞在者 (3ヶ月～6ヶ月)

「絵でマスター日本語基本文型85」  
ひらがな・カタカナ少し。本人に必要な  
文型のみをピックアップしても良い。

<その他の教材>

(文字)「仮名入門」「Basic Kanjibook vol.1.2」  
「生活漢字」

(会話教材)「日本語スキット集」「会話の日本語」  
(教師用参考書)「みんなの日本語初級 I・II 教え方  
の手引」「日本語の教え方ABC」

(お薦めの一冊)

「書いて覚える文型練習帳」  
「みんなの日本語初級」(新版)の副読本

「Japanese for busy people」(ローマ字書き)

文字が全く分からない外国人向け

「日本人と働く」(英語・ローマ字表記)

仕事ですぐ使える。

「にほんご 500問」N1. N2. N3. 問題集(文字・語い・文法)  
理解度をチェック・復習向き

「日本語生中継」(初中級レベルの人向け)

場面シラバスによる会話教材

最後に、3月の勉強会の際に出た2つの質問に対し  
て、MさんとWさんが調べてきた答えを提示してく  
れました。これからも皆さんからの質問は、参加者  
全員で共有していきたいと思ひます。

「平成26年度日本語教授法・初級 II

研修会報告」

サロン事務局&小川(秀)

概要:日程 H27年2月4日～3月25日  
毎水曜日・全7回・10時～12時2H/回・計14H

使用テキスト「みんなの日本語 II」

受講料 無料(テキスト代¥2500別途)

講師 元東京外国語大学非常勤講師 横井雅子氏

応募受講者 20人(男6、女14)

今回も5回(71%)以上の出席者に修了証を  
発行しました。対象17人でした。

今回の研修会 II は現在日本語学習会ボランティア  
活動をされている方々が対象で、今年度、昨年度の  
研修会 I を受講された方が18人おられました。昨年度に  
続き、初日は合同講演会を組み込み、以後毎回30分ほ  
どの「考えてみるテーマ」を設定した複合研修会としま  
した。受講された皆様、お疲れさまでした。

[アンケート結果:回収16人(80%回収率)]

Q1)受講動機		
回答数(件)	16	
①教え方を見直し、向上させたい	10	63%
②文法面の知識を深めたい	6	38%
③その他	0	0%

Q2)「考えてみるテーマ」実施について		
回答数(件)	15	
①良かった	10	67%
②講義のみが良い	0	0%
③どちらともいえない	3	20%
④直接法の実習が良い	2	13%
⑤その他	0	0%

未回答が1件ありました。

Q3)テーマで関心の高かったものは(複数あり)		
回答数(件)	32	
①直接法の復習	8	25%
②「は」と「が」を考える	11	34%
③自動詞と他動詞	4	13%
④受身・使役に見る自然観	3	9%
⑤て形文での誤用例訂正法	4	13%
⑥ムード(モダリティ)って何	2	6%

Q4) 講義の理解について		
回答数 (件)	16	
①よく理解できた	1	6%
②ある程度理解	14	88%
③理解できなかった	1	6%

Q5) 講義の流れ		
回答数 (件)	16	
①適当	7	44%
②画一的	3	19%
③時間不足	6	38%
④その他	0	0%

毎回、時間不足の指摘は一番の悩みです。結局、ボランティア各人の自己啓発の上に研修での気付きや再発見を期待しながら進めて行かざるを得ないという実情です。研修会でのレジュメは何度も見直して頂きたい。

Q6)その他自由意見を以下に要点のみまとめました。

- ・ボランティアをしてからの講義受講は良かったが、スピードが早いので消化不良。
- ・次回のレジュメが事前配布され理解が深められる。実践場面の話を織り交ぜてくれたので、自分にも生かすことができた。
- ・文法についての説明が分かり易かった。実際に教える際の導入方法はとても参考になった。
- ・レジュメを第2版用に改定して頂きかった。
- ・座学に実践的応用を組み合わせるとなお良い。前回より例文を皆で考えられて、理解が深まる機会もあり良かったです。
- ・初級だけでなく中級・上級・テーマ別などの講義もあれば、是非参加したい。
- ・研修者のみでグループを作り、学習者の学習パターン研究発表なども良いのでは。例)来日から日が浅いグループと2~3年滞在のグループでの学習対応の仕方を話し合っって良い点を生かしていく。
- ・ありがとうございました。
- ・もう少しゆっくり時間を掛けられると良い。

- ・研修初回のロシア語直接法実習では、学習者の気持ちが汲み取れ、新鮮で良かった。
- ・2時間で4課は早すぎる。理解が追いつかず、消化できない。

## 新ボラさん こんにちわ!

### 「つながり」と「言葉」の大切さ

月曜午前ボランティア 植山直子

幼少の頃より20年程住んだ府中に、数年前に帰ってくることでなりました。結婚してからは、夫の転勤で色々ところに住み、どこもそれぞれの良さがありました。やはり地元は落ち着くものです。住み慣れた場所を離れている間、知り合いが思うようにできずに寂しい思いをしたこともあり。逆に、友人知人ができると生活に「彩り」が生まれ楽しいものだと実感しました。学習者の方々にも、せっかく日本(府中)に住んでいるのだから、ここに参加することや学んだ「日本語」を活かして、是非「つながり」を沢山つくってほしいと思います。

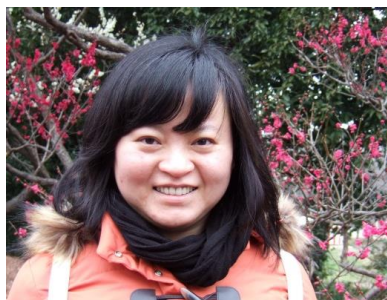
さて、私は、高校生の時に「ラオスに学校を建てる活動」をしていたことをきっかけに、国際協力や交流に興味を持っていました。それから、留学、ボランティア、ホームステイの受け入れ、仕事など、様々な形で国際交流をしてきましたが、「日本語教育」の勉強を始めたのは社会人になってからでした。外国の人にマンツーマンで教えていたこともありましたが、ブランクができてしまったのでもう一度勉強しなおしたい、教える機会を持ちたいという思いから、今回この日本語ボランティアに参加させていただきました。ネイティブとはいえ、普段、無意識に話している言葉を「説明する」ということは、想像以上に難しいことです。うまく説明できずに、立ち止まって考えることも多いですが、学習者やボランティア仲間の皆さんに刺激をうけながら、経験を積める時間を大切に過ごしています。

# 皆さんよろしく◇学習者紹介

# 日本語おちぼひろい

～25～

そう てい ちゆうごく  
曹 婷 さん (中国)



## 「交流サロンは楽しいです」

中国遼寧省瀋陽市出身の曹さん。「どんなところ？」と聞くと「寒いところ」という返事が返ってくるだけあって、冬には-26℃になるという中国の東北部に位置しているところです。

日本で仕事をしているご主人と一年前に結婚して、すぐ日本に来ました。

ニックネームは特別なことなのですが、ご両親は「ていてい」と呼ぶそうです。「シンシン」「ランラン」など可愛いものの名前に同じ言葉を繰り返すのは日本でもよく知られています。

来日して一年ですが、週3日サロンで勉強しているので上達が早いです。大学で英語を専攻し、それを生かして会社で庶務の仕事をして8年間やっただけあって、語学のセンスもあるのでしょうか。

「お疲れさまです」「お願いします」などの日本語は心が休まり大好きな言葉だそうです。プレゼントを渡すとき「つまらないものですがけれど・・・」なんて言うのも憶えて、どんどん日本語を吸収しているようです。

趣味は旅行と料理を作ることだそうです。悩みは、天ぷらとかから揚げなどの日本食がおいしくて体重オーバーになったことで、週末にはその解消のためにご主人とウォーキングをしているそうです。

## 「映画のコピー」

きんようよる わ だ やすひろ  
金曜夜ボランティア 和田泰弘

映画を観ようと思うきっかけは十人十色。テーマに魅かれる、監督、出演俳優が好き、ポスター、コピーが気に入った、予告編が面白かった、紹介記事や映評が良かった等々。映画を宣伝する側からすると、そのような動機に的確に答えることが重要な仕事になってきます。一人でも多くの観客を得るため、宣伝マンは観客のニーズを充たすべくあらゆるメディアに働きかけ、奔走するのです。

映画のコピー(宣伝文句)は、ひとことでその映画の魅力を伝えねばなりません。人の目に触れるすべての宣伝材料に統一して入れる、いわばその映画の顔なのです。だから映画各社の宣伝担当は名コピーを編み出すことに知恵を絞ります。

映画にはいろいろなジャンルがあり、そのひとつに涙が売りの、いわゆる「泣き映画」があります。38年前、大学アメリカンフットボール界の最高の名誉、“ハイズマン・トロフィー”を受賞した選手と白血病に冒された弟との絆を描いた実話に基づく「ジョーイ」という作品がありました。弟ジョーイの応援を励みにする兄が授賞式で「この賞は弟のものです」と演説するシーンでは、宣伝を担当した私も最初の字幕試写で図らずも泣いてしまいました。女性スタッフの泣き方は半端ではありませんでした。そこで、生まれたコピーは「この映画は終わってからもしばらく灯りがつきません」。「ハンカチ試写状」を作ったり、徹底的に「涙」を演出した宣伝が実り、「凄い泣けるらしいよ」「暗いうちに涙ふけるんだって」と、口コミが浸透し題名よりコピーの方が認知されました。「ジョーイ」は、その年の正月に公開され大ヒットしました。

人に何かを伝えるとき、ポイントを的確にまとめるのはむずかしいものです。長舌は飽きられる、短

すぎると意味不明。呻吟して映画のコピーを作ることで学んだのは、「簡にして要を得る」です。

## ～編集後記～

# みんなの広場

## ★フロアコンサートのお知らせ

ルミエール府中のコンベンションホール飛鳥では、定期的にフロアコンサートが開催されています。サロンからも、学習者のダニエル・ルイス・クーヤヴェツさんがピアノコンサートを開いたことがありますが、今回、金曜午後のボランティアをされている小岩井雅人さんが下記の日程でリサイタルを開くことになりました。

### ＜小岩井雅人 第6回テノールリサイタル＞

日時：5月30日（土）14：00開演

会場：ルミエール府中

コンベンションホール飛鳥

入場：無料 問い合わせ：080-5432-0863

ピアノ伴奏、ソプラノ・アルト・ベースの重唱を得て、トスティのラ・セレナータ、出船、こいのぼり、見上げてごらん夜の星を、高原列車は行く、流浪の民など、バラエティに富んだ名曲の数々を小岩井さんが熟唱、披露いたします。皆さま、ぜひフロアコンサートにお出かけください。（編集部）

### ＜お詫びと訂正＞

先月号4頁掲載の、「外大連携講座報告」の文中、最後の行で一文が抜けてしまいました。正しくは、「～本番を迎えられました。今回の市民講座では、プロジェクトを立ち上げることの難しさや、～」です。訂正してお詫び申し上げます。（編集部）

突然ですが、4月のTBSテレビ「プレバト芸能界スペシャル」をご覧になったでしょうか？芸能人が日本文化（俳句、生け花、和食、絵手紙etc）に挑戦し腕前を競う番組です（毎週木曜日7pm）。4月の特番では絵手紙の大家「花城祐子氏」が登壇、作品を品評されました。サロンで絵手紙教室を指導しているボランティアの浜田さんは、花城先生の愛弟子です。絵筆の持ち方から絵の具の始末に始まり、学習者は、絵だけでなく漢字の勉強や季語、季節の挨拶の言葉も学んでいます。「下手でいい、へたがいい」との浜田先生の励ましを受け、電子メールでは表せない温かさを和紙に込めて描いています。本誌「くろするーど」の挿絵でお馴染みの絵手紙教室をのぞいてみませんか？（進藤）



進藤美津江

【編集】会報部会/ 安島、坂倉、篠塚、進藤、

高柳、堤林、増田、和田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：salon@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

